

2015年3月期 第2四半期 決算説明資料

2014年11月27日

文化シヤッター株式会社

目次

2015年3月期 第2四半期の実績について P 1

事業環境について	P 2
業績について	P 3
売上高及び営業利益の増減要因	P 4
セグメント別売上高及び営業利益	P 5
売上高の用途別セグメント別増減分析	P 6

2015年3月期の見通しについて P 7

事業環境予想について	P 8
業績見通しについて	P 9
売上高及び営業利益の増減要因	P10
セグメント別状況	P11

第三次中期経営計画の進捗状況について P12

計画の進捗状況と事業別売上高推移について	P13
営業力の革新① シャッター・ドア事業の強化	P14
営業力の革新② ストック市場への注力	P15
営業力の革新③ 施工力の強化	P16
営業力の革新④ 不二サッシ株式会社との協業推進	P17
営業力・商品力の革新① 高付加価値商品の拡販	P18
営業力・商品力の革新② 「エコ&防災」 太陽光発電システム事業の取り組み強化	P19
営業力・商品力の革新③ 「エコ&防災」 止水事業の取り組み強化	P20
営業力・生産力の革新 海外事業の取り組み強化	P21
経営基盤の革新 企業コストの削減（BXTCR）の取り組み強化	P22

参考資料

文化シャッターグループ概要	参- 1
文化シャッターグループの会社構成と海外事業展開	参- 2
連結貸借対照表	参- 3
連結キャッシュフロー計算書	参- 4
シャッター関連製品事業の状況（主要製品）	参- 5
建材関連製品事業の状況（主要製品）	参- 6
サービス事業、リフォーム事業の状況	参- 7

2015年3月期 第2四半期の実績について

事業環境について

	2013年3月期 上期		2014年3月期 上期		2015年3月期 上期	
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比
新設住宅着工戸数 (万戸)	44.2	102.3%	49.9	112.7%	44.1	88.4%

非住宅着工床面積 (万㎡)	2013年3月期 上期		2014年3月期 上期		2015年3月期 上期	
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比
工場・倉庫 (万㎡)	764	116.4%	789	103.2%	773	98.0%
医療・福祉 (万㎡)	422	72.0%	520	123.2%	500	96.1%
店舗 (万㎡)	345	123.2%	462	133.6%	350	75.8%
事務所 (万㎡)	317	116.2%	333	105.1%	326	98.0%

◆ 経済環境は、政府による経済対策や日本銀行による金融緩和策を背景に、景気は緩やかな回復基調に向かうと思われた。しかし、急激な円安による原材料価格上昇や、消費税増税の影響により、経済成長が停滞基調で推移したことで景気下振れの懸念が強まるなど、先行きの不透明感は拭いきれない状況で推移した。

◆ 建築市場について、新設住宅着工戸数は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動の影響により、前年同期比5万8,000戸減の44万1,000戸で推移した。

非住宅着工床面積は、店舗向けが減速したことなどにより、前年同期比180万㎡減の2,734万㎡で推移した。

業績について

(単位:百万円)

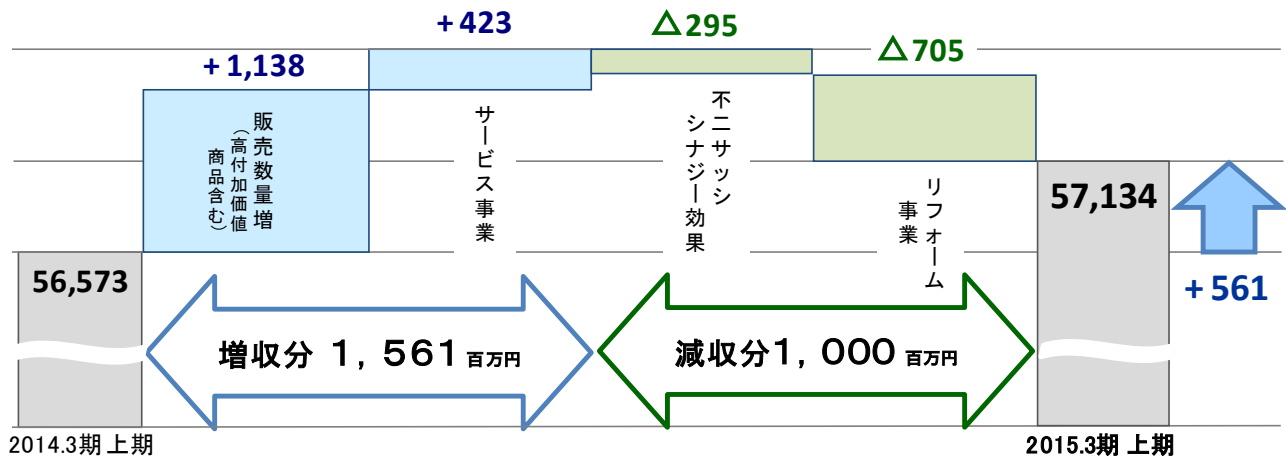
	2014年3月期 上期		2015年3月期 上期			
	実績	売上比	予想	実績	売上比	前年同期比
売上高	56,573	100.0%	60,000	57,134	100.0%	101.0%
売上原価	41,513	73.4%	43,800	40,778	71.4%	98.2%
売上総利益	15,060	26.6%	16,200	16,355	28.6%	108.6%
販売費及び一般管理費	12,429	22.0%	13,000	13,151	23.0%	105.8%
営業利益	2,630	4.6%	3,200	3,203	5.6%	121.8%
経常利益	2,802	4.9%	3,400	3,666	6.4%	130.9%
当期純利益	1,583	2.8%	2,000	2,322	4.1%	146.7%
1株当たり配当金	6円		8円	8円		+2円
設備投資額	1,207		—	711	58.9%	
減価償却費	766		—	850	111.0%	
期末 従業員 (人)	正社員	3,359	—	3,517	+158	
	臨時雇用者	879	—	927	+48	
	合計	4,238	—	4,444	+206	

- ◆ 上期の業績は、4期連続の増収増益。
- ◆ 営業利益率は5.6%と、前年同期比で1ポイント増加。
- ◆ 1株当たり配当金は、2円増配の8円。
- ◆ 設備投資額は、工場設備の合理化及び更新で4億2,400万円、有形リース資産が1億5,800万円など、合計で7億1,100万円。

売上高及び営業利益の増減要因

【売上高】

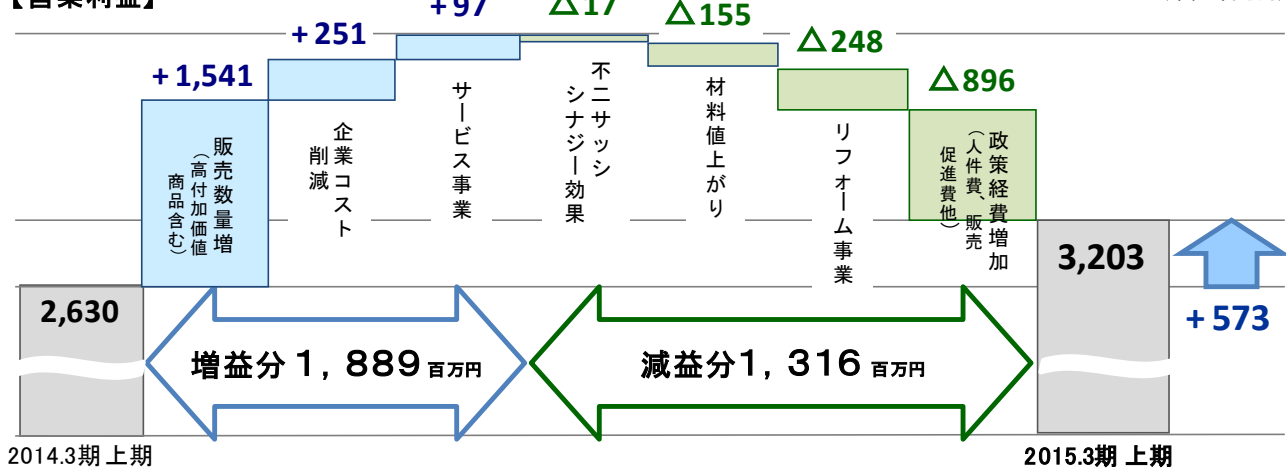
(単位:百万円)



- ◆ 売上高の増減要因について、増収要因は、「販売数量の増加」、「サービス事業」の売上拡大が寄与。減収要因は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動で、「リフォーム事業」が苦戦。トータルで5億6,100万円の増収。

【営業利益】

(単位:百万円)



- ◆ 営業利益の増減要因について、増益要因は、「販売数量の増加」、「企業コストの削減」などが寄与。減益要因は、「材料費の値上がり」、「リフォーム事業」の売上減、人件費を中心とした「政策経費の増加」などが影響。トータルで5億7,300万円の増益。

セグメント別売上高及び営業利益

(単位:百万円)

	2014年3月期 上期		2015年3月期 上期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
シャッター関連製品事業	22,297	2,558	21,953	3,062
伸率	113.4%	107.4%	98.5%	119.7%
伸額	2,640	177	△ 344	504
建材関連製品事業	20,797	497	21,833	720
伸率	108.3%	813.2%	105.0%	144.9%
伸額	1,591	436	1,036	223
サービス事業	6,721	489	7,144	586
伸率	102.0%	94.7%	106.3%	120.0%
伸額	133	△ 27	423	97
リフォーム事業	5,081	256	4,376	8
伸率	108.7%	155.2%	86.1%	3.5%
伸額	406	91	△ 705	△ 248
その他事業	1,673	59	1,824	126
伸率	152.2%	674.7%	109.0%	213.5%
伸額	574	51	151	67
配賦不能額	-	1,229	-	1,300
合計	56,573	2,630	57,134	3,203
伸率	110.4%	135.2%	101.0%	121.8%
伸額	5,346	685	561	573

- ◆ シャッター関連製品事業は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動により、軽量シャッターが低調に推移したことなどで、減収。付加価値の高い防火認定を取得した窓シャッターが好調に推移したことと、採算性を重視した重量シャッターの受注成果により、増益。
- ◆ 建材関連製品事業は、非住宅向けのスチールドアと、主に医療・福祉向けのバリアフリー対応の引き戸が好調に推移したことにより、増収増益。
- ◆ サービス事業は、緊急の修理およびメンテナンス対応が好調に推移したことにより、増収増益。
- ◆ リフォーム事業は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動により、減収減益。
- ◆ その他事業は、太陽光発電システム事業と止水事業が好調に推移したことにより、増収増益。

売上高の用途別セグメント別増減分析

(単位: 億円)

		増減収 売上高	工場・倉庫 向け	医療福祉・ 学校向け	商業施設 向け	オフィスビル・ 公共施設向け	その他 住宅向け等
増収額 合計	増 減	5.6	△ 9.6	13.8	△ 2.3	2.3	1.4
売上高 合計	売上高	571.3	130.2	90.7	46.5	59.3	244.6
シャッター関連 製品事業計	増 減	△ 3.4	△ 8.2	1.8	△ 3.0	1.9	4.1
	売上高	219.5	79.3	13.1	22.5	11.8	92.8
軽量シャッ ター群	増 減	△ 2.9	△ 1.1	0.0	△ 0.7	0.0	△ 1.1
	売上高	71.0	25.9	1.4	5.8	3.3	34.6
重量シャッ ター群	増 減	△ 3.9	△ 5.9	2.0	△ 1.6	1.4	0.2
	売上高	84.2	43.1	6.2	11.5	5.9	17.5
窓シャッター 群	増 減	4.4	-	-	-	-	4.4
	売上高	32.0	-	-	-	-	32.0
シャッター関 連群	増 減	△ 1.0	△ 1.2	△ 0.2	△ 0.7	0.5	0.6
	売上高	32.3	10.3	5.5	5.2	2.6	8.7
建材関連製品 事業計	増 減	10.3	△ 1.7	11.1	0.4	△ 1.1	1.6
	売上高	218.3	21.4	73.5	11.9	34.3	77.2
エクステリア 群	増 減	0.9	-	-	-	-	0.9
	売上高	34.7	-	-	-	-	34.7
ドア・パー ティション群	増 減	9.4	△ 1.7	11.1	0.4	△ 1.1	0.7
	売上高	183.6	21.4	73.5	11.9	34.3	42.5
サービス 事業計	増 減	4.2	0.4	0.8	0.2	1.5	1.3
	売上高	71.5	26.5	2.9	11.4	12.2	18.5
リフォーム 事業計	増 減	△ 7.0	-	-	-	-	△ 7.0
	売上高	43.8	-	-	-	-	43.8
その他 事業計	増 減	1.5	△ 0.1	0.1	0.1	0.0	1.4
	売上高	18.2	3.0	1.2	0.7	1.0	12.3

- ◆ 「工場・倉庫向け」は、主に物流倉庫向けの重量シャッターが低調に推移し、130億2,000万円と9億6,000万円の減収。
- ◆ 「医療福祉・学校向け」は、バリアフリー対応の引き戸「カムスライダー」が好調に推移し、90億7,000万円と13億8,000万円の増収。
- ◆ 「商業施設向け」は、シャッター関連製品が低調に推移し、46億5,000万円と2億3,000万円の減収。
- ◆ 「オフィスビル・公共施設向け」は、シャッター関連製品が堅調に推移し、59億3,000万円と2億3,000万円の増収。
- ◆ 「その他住宅向け等」は、リフォーム事業が低調に推移した一方で、窓シャッターが好調に推移し、244億6,000万円と1億4,000万円の増収。

2015年3月期の見通しについて

事業環境予想について

【事業環境】	2013年3月期		2014年3月期		2015年3月期	
	実績	前期比	実績	前期比	予想	前期比
新設住宅着工戸数 (万戸)	89.3	106.2%	98.7	110.6%	89.8	91.0%
非住宅着工床面積 (万㎡)	5,203	109.5%	5,625	108.1%	5,810	103.3%
工場・倉庫 (万㎡)	1,495	116.6%	1,506	100.7%	1,550	100.0% ~ 103.3%
医療・福祉 (万㎡)	924	84.5%	1,111	120.2%	1,120	
店舗 (万㎡)	743	143.0%	835	112.3%	845	
事務所 (万㎡)	612	105.0%	609	99.5%	630	

新設住宅着工戸数の予想値は、住宅生産団体連合会のデータを参考に試算
 非住宅着工床面積は、建設経済研究所のデータを参考に試算

【売上構成比】	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期上期
住宅向け	27.2%	27.6%	29.4%
非住宅向け	72.8%	72.4%	70.6%

- ◆ 経済環境は、
 鋼材をはじめ円安による原材料価格の上昇等の影響や、消費税増税に伴う消費低迷により、景気下振れの懸念は見込まれるものの、政府による各種経済対策が徐々に浸透していく見込みから、景気は緩やかながらも回復基調で推移すると予想。
- ◆ 建築市場について、
 新設住宅着工戸数は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動により、前期比91.0%の89万8,000戸を予想。
 非住宅着工床面積は、工場・倉庫やオフィスビルを中心に緩やかな回復基調が継続する見込みから、前期比103.3%の5,810万㎡を予想。

業績見通しについて

(単位: 百万円)

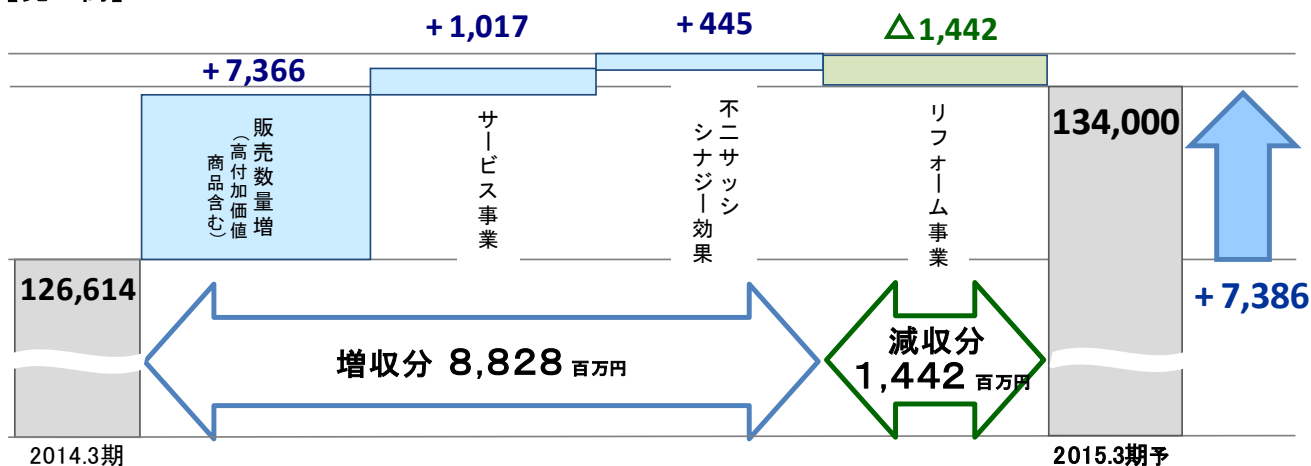
	2014年3月期			2015年3月期						
	下期実績	通期実績	売上比	下期予想	前年同期比	通期予想	売上比	前期比		
								伸率	伸額	
売上高	70,041	126,614	100.0%	76,866	109.7%	134,000	100.0%	105.8%	7,386	
売上原価	50,134	91,647	72.4%	56,222	112.1%	97,000	72.4%	105.8%	5,353	
売上総利益	19,906	34,966	27.6%	20,645	103.7%	37,000	27.6%	105.8%	2,034	
販売費及び一般管理費	13,001	25,430	20.1%	13,849	106.5%	27,000	20.1%	106.2%	1,570	
営業利益	6,906	9,536	7.5%	6,797	98.4%	10,000	7.5%	104.9%	464	
経常利益	7,741	10,543	8.3%	7,334	94.7%	11,000	8.2%	104.3%	457	
当期純利益	6,374	7,957	6.3%	5,678	89.1%	8,000	6.0%	100.5%	43	
1株当たり配当金	8円	14円		8円		16円		-	2円	
設備投資額	1,474	2,681		2,789		3,500		130.5%	819	
減価償却費	886	1,652		1,108		1,958		118.5%	306	
期末従業員 (人)	正社員	-	3,374	-		3,540		-	166	
	臨時雇用者	-	891	-		960		-	69	
	合計	-	4,265	-		4,500		-	235	

- ◆ 非住宅着工床面積が堅調に推移する見通しであること、9月末の受注残高が前年同期比で92億円増加していることから、通期は期初通りの予想を見込む。
- ◆ 売上高は、前期比105.8%の1,340億円を見込む。
- ◆ 営業利益は、前期比104.9%の100億円、営業利益率は7.5%を見込む。
- ◆ 1株当たりの配当金は、2円増配の16円を見込む。
- ◆ 設備投資額は、前期比130.5%の35億円を計画。

売上高及び営業利益の増減要因

【売上高】

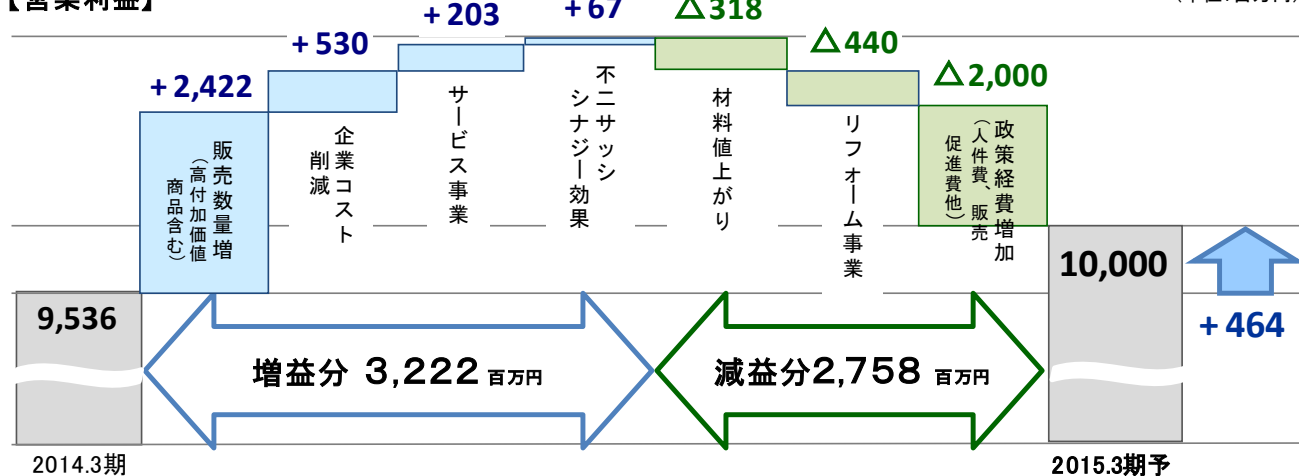
(単位:百万円)



- ◆ 売上高の増減要因について、
増収要因は、「販売数量の増加」、「サービス事業」の売上拡大などを見込む。
減収要因は、「リフォーム事業」が引き続き厳しい見込み。
トータルで73億8,600万円の増収を見込む。

【営業利益】

(単位:百万円)



- ◆ 営業利益の増減要因について、
増益要因は、「販売数量の増加」、「企業コストの削減」などを見込む。
減益要因は、「材料の値上がり」、「リフォーム事業」の売上減、「政策経費の増加」を見込む。
トータルで4億6,400万円の増益を見込む。

セグメント別状況

(単位:百万円)

【売上高】	2014年3月期				2015年3月期			
	上期実績	伸率	通期実績	伸率	上期実績	伸率	通期予想	伸率
シャッター関連事業	22,297	113.4%	47,931	115.0%	21,953	98.5%	51,000	106.4%
建材関連事業	20,797	108.3%	49,195	108.8%	21,833	105.0%	53,400	108.5%
サービス事業	6,721	102.0%	14,983	108.0%	7,144	106.3%	16,000	106.8%
リフォーム事業	5,081	108.7%	11,042	115.3%	4,376	86.1%	9,600	86.9%
その他事業	1,673	152.2%	3,461	133.0%	1,824	109.0%	4,000	115.6%
合計	56,573	110.4%	126,614	112.1%	57,134	101.0%	134,000	105.8%
【営業利益】								
シャッター関連事業	2,558	107.4%	7,128	134.3%	3,062	119.7%	7,600	106.6%
建材関連事業	497	813.2%	2,249	306.2%	720	144.9%	2,500	111.2%
サービス事業	489	94.7%	1,697	118.1%	586	120.0%	1,900	112.0%
リフォーム事業	256	155.2%	740	187.2%	8	3.5%	300	40.5%
その他事業	59	674.7%	179	163.0%	126	213.5%	300	167.6%
配賦不能額	1,229	103.5%	2,458	99.6%	1,300	105.8%	2,600	105.8%
合計	2,630	135.2%	9,536	172.9%	3,203	121.8%	10,000	104.9%
【受注残高】								
シャッター関連事業	13,294	115.9%	12,683	117.4%	16,796	126.3%	15,800	124.6%
建材関連事業	28,227	122.6%	26,654	132.9%	34,424	122.0%	33,200	124.6%
サービス事業	1,582	84.1%	1,382	74.2%	1,572	99.4%	1,600	115.8%
リフォーム事業	1,567	145.8%	1,163	89.9%	1,037	66.2%	1,500	129.0%
その他事業	814	228.0%	896	150.8%	854	104.9%	900	100.4%
合計	45,486	120.3%	42,779	123.6%	54,685	120.2%	53,000	123.9%
【受注高】								
シャッター関連事業	24,791	110.7%	49,814	113.9%	26,066	105.1%	54,116	108.6%
建材関連事業	28,966	113.4%	55,789	114.8%	29,604	102.2%	59,945	107.4%
サービス事業	6,441	94.8%	14,503	103.1%	7,335	113.9%	16,217	111.8%
リフォーム事業	5,355	115.4%	10,911	111.8%	4,251	79.4%	9,936	91.1%
その他事業	1,894	158.5%	3,763	128.3%	1,782	94.1%	4,003	106.4%
合計	67,449	111.3%	134,783	113.2%	69,039	102.4%	144,220	107.0%

- ◆ 15年上期の「受注残高」は、前年同期比91億9,900万円増の546億8,500万円と、好調に推移。
- ◆ 通期は、リフォーム事業を除く全てのセグメントにおいて、増収増益を見込む。

第三次中期経営計画の進捗状況について

第三次中期経営計画の進捗状況と事業別売上高推移

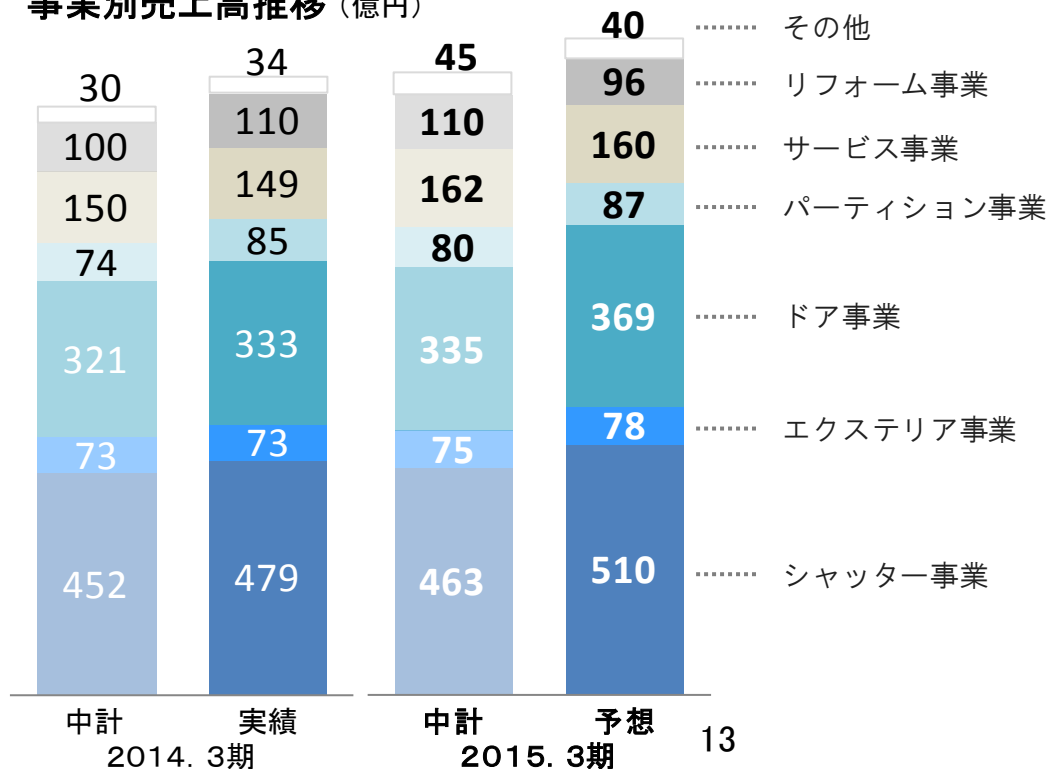
(億円)

	2014.3期		2015.3期	
	中計	実績	中計	予想
売上高	1,200	1,266	1,270	1,340
伸率	106.3%	112.1%	105.8%	105.8%
営業利益	70	95	76	100
営業利益率	5.8%	7.5%	6.0%	7.5%
投資額	30	26	35	35

第三次中期経営計画の進捗状況について

◆「企業革新の実現」を基本テーマに進めてきた第三次中計の2年目となる15年3月期は、当初の計画を上方修正した予想数字を、5月に発表した。11月時点において、予想数字に変更はなく、売上高1,340億円、営業利益100億円の増収増益を見込む。

事業別売上高推移 (億円)



第三次中計の基本テーマ

『企業革新の実現』

営業力の革新

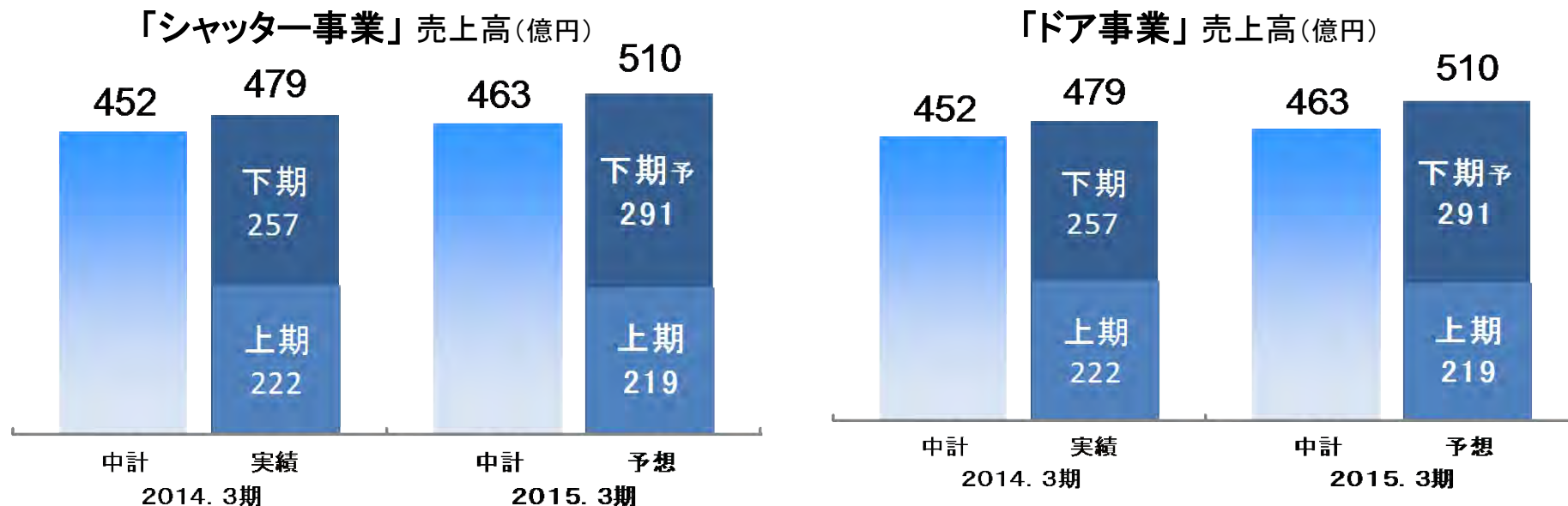
生産力の革新

商品力の革新

組織力の革新

経営基盤の革新

営業力の革新① シャッター・ドア事業の強化



シャッター事業の強化について

- ◆今上期は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動の影響により、売上高は219億円と、前年同期比で3億円減少した。
- ◆15年3月期は、堅調な非住宅市場を背景に、重量シャッターを中心とした受注強化を図ることで、売上高は前期比106.4%の510億円を見込む。



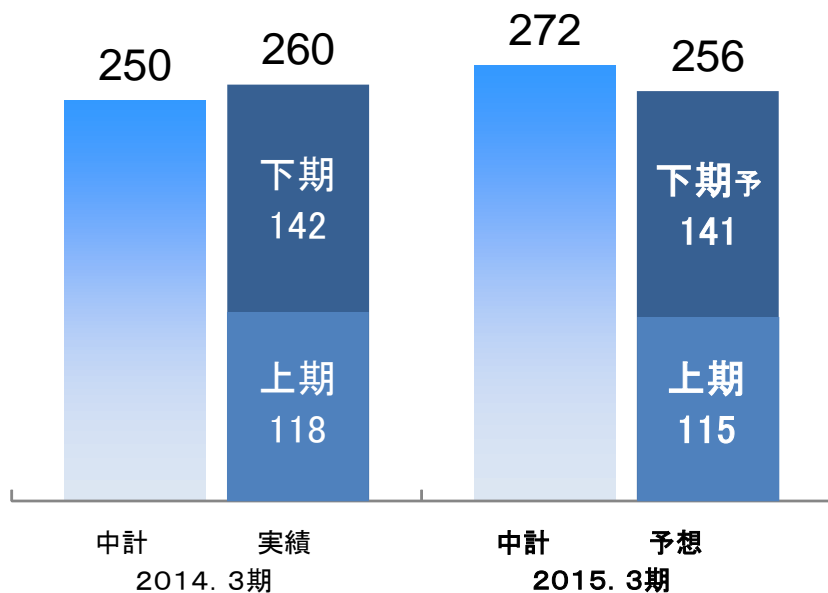
ドア事業の強化について

- ◆今上期は、堅調な非住宅市場を背景に、売上高は149億円と前年同期比で11億円増加した。
- ◆15年3月期は、非住宅向けの「スチールドア」と、医療・福祉施設向け引き戸「カームスライダー」の拡販により、売上高は前期比110.6%の369億円を見込む。



「サービス事業、リフォーム・リニューアル事業」

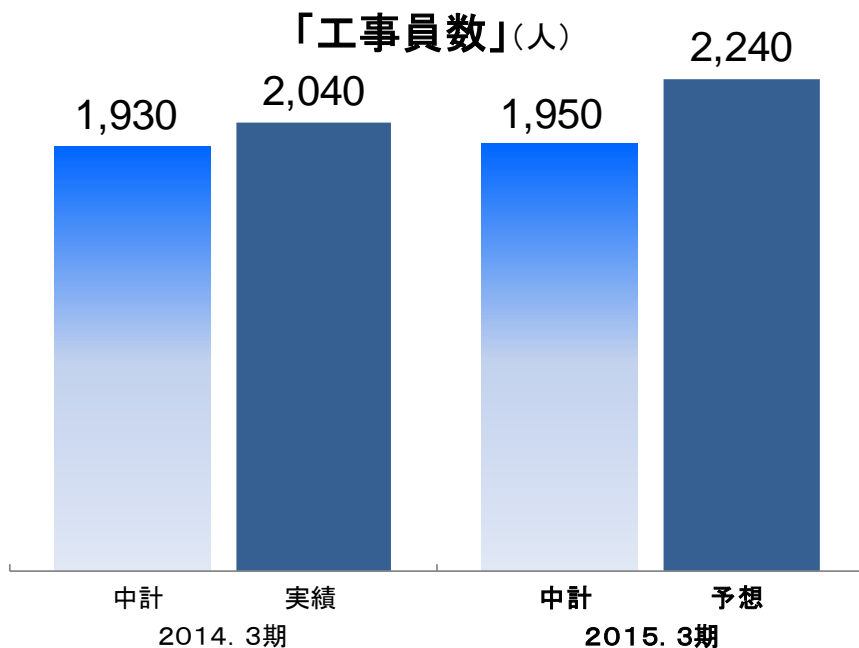
売上高(億円)



第24回読者が選ぶネーミング大賞
「アイデアネーミング賞」受賞

Stock市場への注力について

- ◆ 今上期は、修理・メンテナンスが好調に推移したことから、サービス事業は前年同期比で4億2,300万円の増収。一方で、消費税増税の影響もあり、リフォーム事業は前年同期比で7億500万円の減収。「Stock市場」向け売上高は、115億2,000万円と前年同期比で2億8,200万円減少した。
- ◆ サービス事業については、安心・安全をキーワードに、修理・メンテナンス対応に引き続き注力する。また、中長期的には、今後、施行される「防火設備の検査報告制度」に向け、資格取得を含めた人材育成を強化する。
- ◆ リフォーム事業については、定額リフォーム商品「超安心価格」の拡販と、リピート受注の強化を図る。リニューアル事業については、電動化の推進と法人営業の強化を継続して推し進める。
- ◆ 15年3月期の「Stock市場」向け売上高は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動を考慮し、前期比98.4%の256億円を見込む。

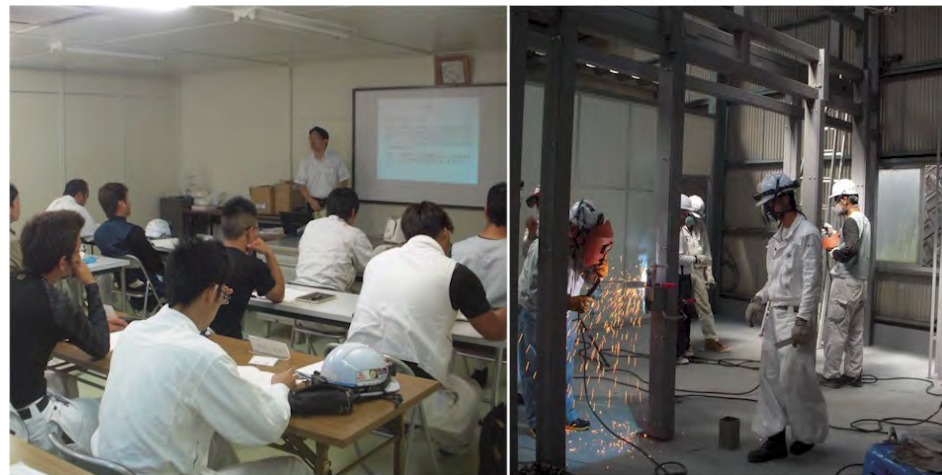


施工力の強化について

- ◆ 施工力の強化と施工品質の向上に取り組むために、工事員が施工技術を習得できる研修施設を、今年8月に兵庫県にある姫路工場内に開設。茨城県にある研修施設を含め、東西2拠点体制とした。
- ◆ 工事員増強の進捗状況について、今上期は134名増員して2,174名に拡充。15年3月期の目標2,240名体制をめざして、引き続き工事員の増強と即戦力としての強化を図る。

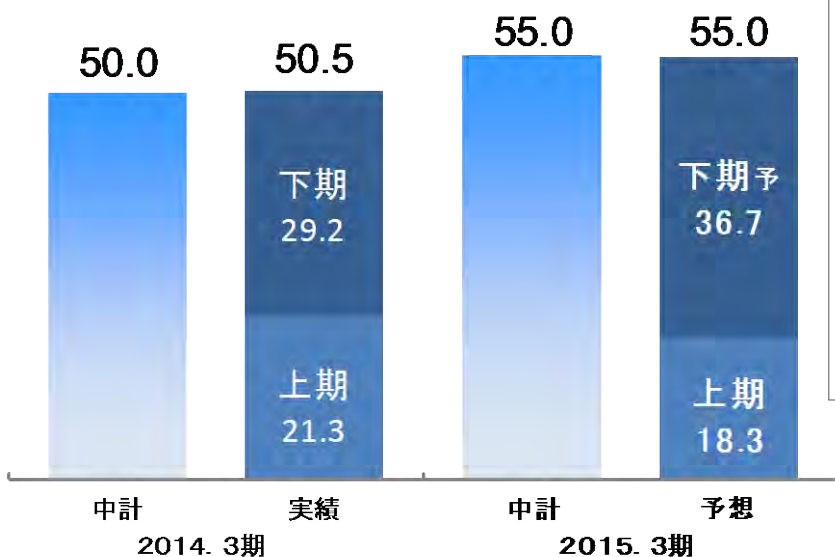


シャッター及びドアの施工研修の様子

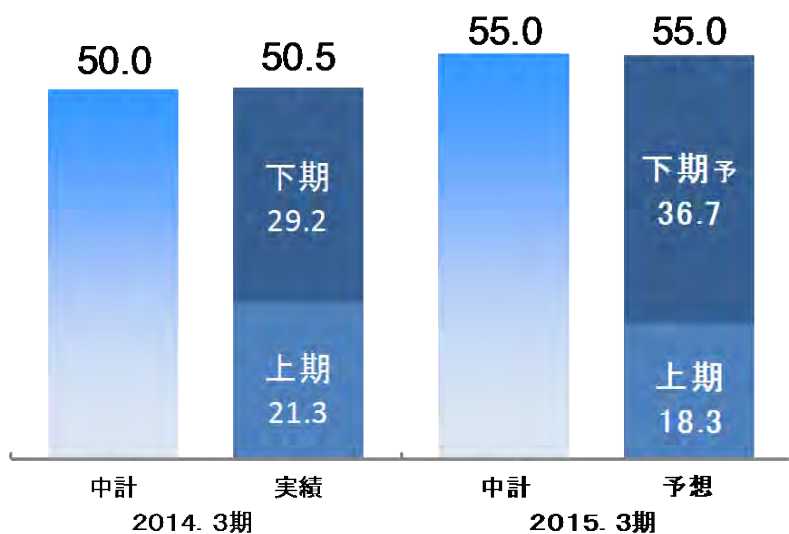


8月に開設した「姫路研修所」での研修の様子

「協業」売上高(億円)

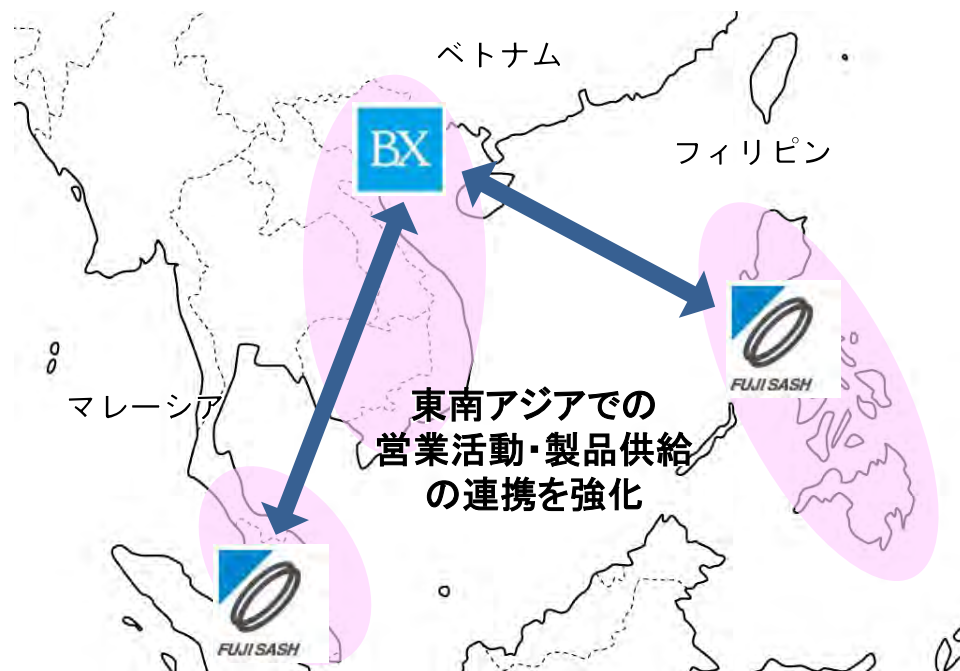


「協業」営業利益(億円)

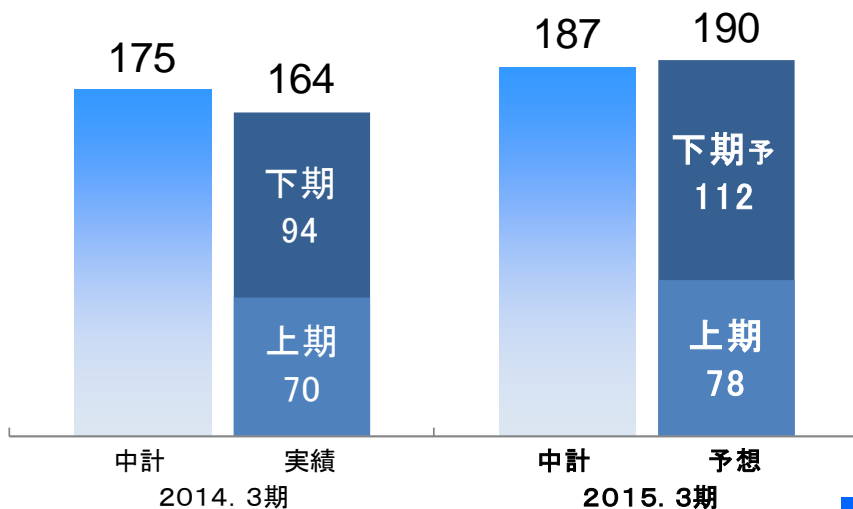


不二サッシ株式会社との協業成果について

- ◆ 今上期は、売上高は18億3,400万円と、前年同期比で3億円減少し、営業利益は2億9,500万円と、前年同期比で1,700万円減少した。
- ◆ 15年3月期は、既にスタートした東南アジア市場における両社の商材を活かした複合提案を本格化することなどで、売上高55億円、営業利益5億2,000万円を見込む。



「高付加価値商品」売上高(億円)



高付加価値商品の拡販について

- ◆ 今上期の売上高は78億円と、前年同期比で8億円増加し、全売上高に占める割合が13.7%と1.3ポイント増加した。15年3月期は、新商品のラインアップ拡充と、提案営業の実践により、売上高は190億円を見込む。
- ◆ 高付加価値商品の拡販を図るため、今期は新たに3商品を“業界初”の新商品として市場に投入した。お客様のご要望にきめ細かく対応した提案型商品として、さらなる収益の拡大につなげていく。

◆高付加価値商品のラインアップ

<住宅向け>

「エスプリモート」「御前様」「フラットピット」
「大静快」「電動窓シャッター」

<工場・倉庫向け>

高速シートシャッター「大間迅」

<医療・福祉施設向け>

「カームスライダー」「ヒクオス」
「スライダーレ」「ヴァリフェイス」

<その他施設向け>

木粉入り樹脂エクステリア「テクモク」
「オーニング」

15年3月期 市場投入商品



通常使いができるゲリラ豪雨対策の止水ドア「アクアード」

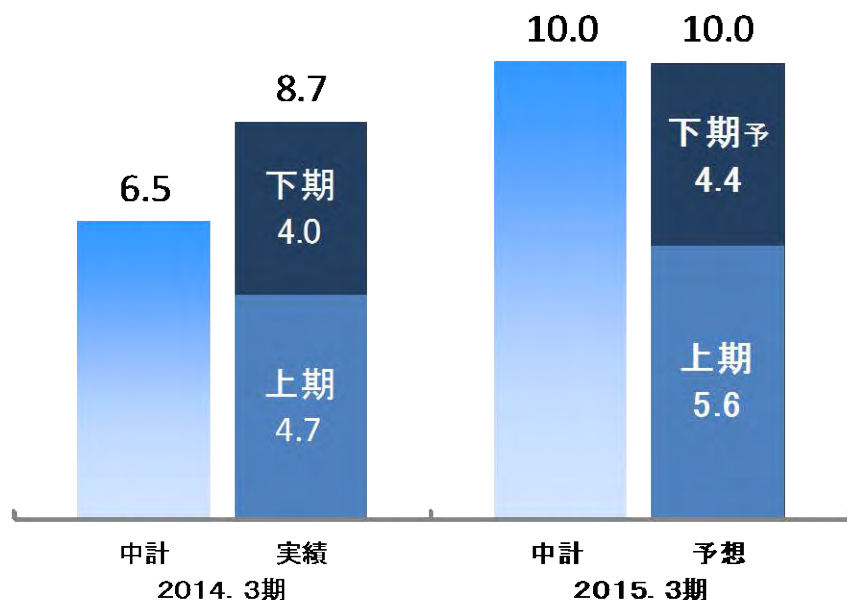


対震性能を備えた高齢者集合住宅向け玄関引き戸「ヴァリフェイスAi」



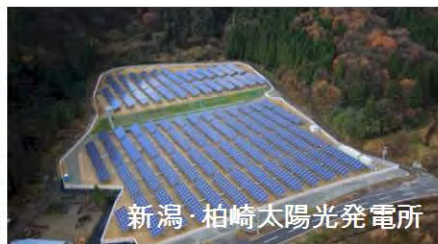
マイナス30℃の環境に設置できる高速シートシャッター「大間迅M2フリーザータイプ」

「太陽光発電システム事業」売上高(億円)

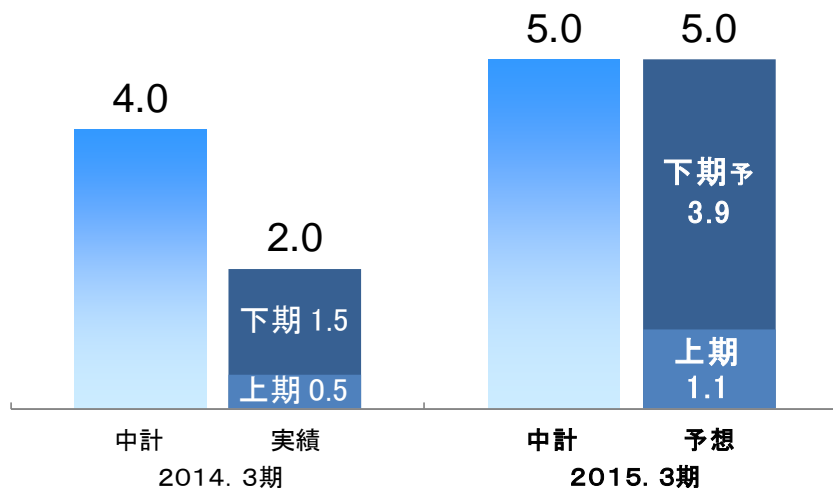


太陽光発電システム事業の取り組みについて

- ◆ 今上期の売上高は、5億6,500万円と、前年同期比で9,700万円増加した。
- ◆ 再生可能エネルギーの買取制限の動きにより、今後、受注落ち込みが懸念されるが、15年3月期は、主に住宅向けの受注に注力することで、売上高は10億円を見込む。
- ◆ グループ施設や遊休地を活用して太陽光発電システムを設置し、クリーンなエネルギーの提供を通じて地域社会への貢献を進めている当グループは、大分県杵築市にあるグループ会社のBXケンセイ株式会社にて、年間発電量5万3,000kWh(キロワットアワー)の太陽光発電システムを設置し、10月29日より稼働を開始した。



「止水事業」売上高(億円)



止水事業の取り組みについて

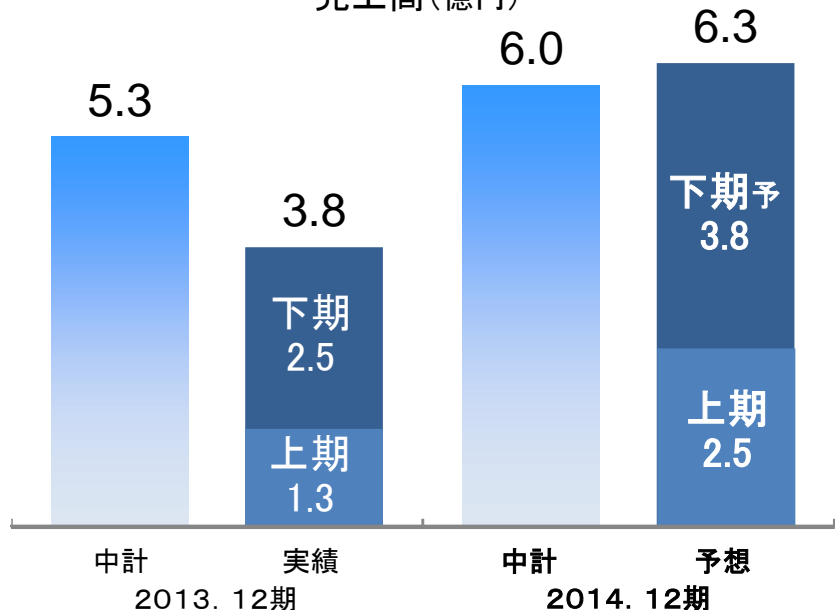
- ◆ 今上期は、展示会への止水商品の出展を加速させるなど、当社オリジナル商品のPR活動を積極的に推進したことで、売上高は1億1,400万円と、前年同期比で6,000万円増加した。
- ◆ 7月には、ビルの通用口の浸水対策商品として、業界初の通常使いができる止水ドア「アクアード」を市場に投入した。
- ◆ 15年3月期は、当社オリジナルの止水商品を中心に積極的な提案営業を進めることで、売上高は5億円を見込む。

BXオリジナル 止水商品

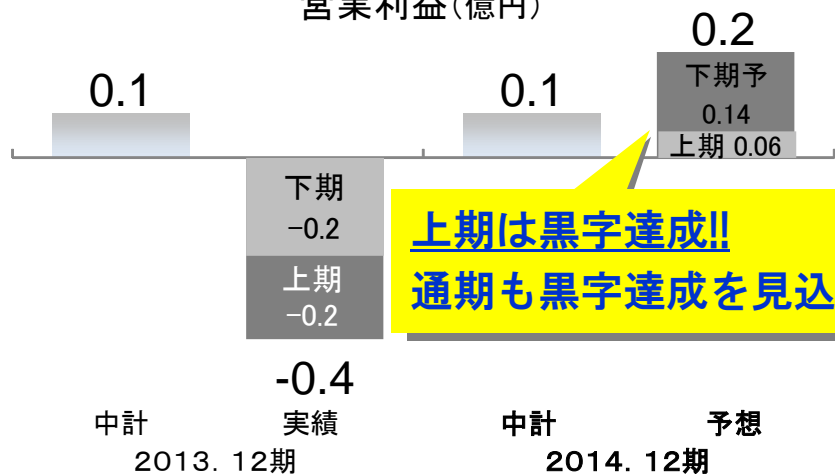


「BX BUNKA VIETNAM Co.,Ltd」

売上高(億円)



営業利益(億円)



ベトナムを中心とした海外事業展開について

- ◆ 今上期は、日系企業向けを中心に高速シートシャッター「大間迅」、ドア、重量シャッターが好調に推移し、売上高は2億5,000万円と、前年同期比で1億2,000万円増加し、営業利益は600万円と、初めて黒字に転じた。
- ◆ 現在、東南アジアを中心に建設が進められる空港施設や大型商業施設向けの物件を対象に、順調な受注活動を継続中。
- ◆ 東南アジアにおける需要増と、競合他社との価格競争に対応するため、鋼板や樹脂、電動機構など原材料の現地調達をスタートさせた。
- ◆ 2010年にベトナムの現地工場が稼働して5年目を迎える14年12月期において、売上高は6億3,000万円、営業利益は2,000万円と、初の黒字化を達成できる見込み。



（億円）

	2014.3期		2015.3期			主な施策
	計画	実績	計画	予想	上期実績	
製造・開発部門 コスト削減	4.0	2.9	4.0	4.0	2.0	材料コスト削減 製品VE ムダ、ムラの削減
販売・設計・施工 部門コスト削減	1.0	1.8	0.8	1.0	0.4	商品仕入れ見直し 作図生産性向上 施工生産性向上
一般固定費削減	0.6	0.6	1.0	0.3	0.1	BXTCR活動 (契約単価見直し等)
コスト削減の合計	5.6	5.3	5.8	5.3	2.5	

企業コスト削減の取り組みについて

- ◆ 今上期は、合計で2億5,000万円のコストを削減。
- ◆ 15年3月期は、引き続き徹底したムリ・ムダ・ムラを排除していくことで、5億3,000万円のコスト削減をめざす。

参考資料

文化シャッターグループ概要

- 経営理念 「常にお客様の立場に立って行動します」
「優れた品質で社会の発展に貢献します」
「積極性と和を重んじ日々前進します」
- 概 要 文化シャッター株式会社及び子会社15社
- 事 業 シャッター事業、ビル建材事業、住宅建材事業、リフォーム事業、
リニューアル事業、保守・点検・サービス事業、他
- 拠 点 285営業拠点 119サービス拠点 22工場
- 従業員数 3, 517名(2014年9月末現在)

【文化シャッター株式会社(単体)】

代表者 代表取締役社長 執行役員社長 茂木 哲哉
設 立 1955年(昭和30年)4月18日
資本金 15, 051百万円
本 社 東京都文京区西片1-17-3

文化シャッターグループの会社構成と海外事業展開

文化シャッター株式会社

シャッター関連製品事業

「電動開閉機」製造・販売

新生精機 株式会社

「オーニング」製造・販売

BXテンパール 株式会社

「シャッター」製造・販売

**BX沖縄文化シャッター
株式会社**

建材関連製品事業

「ドア」「パーティション」製造

**BX文化パネル
株式会社**

「ドア」「スライディングウォール」
製造・販売

**BXティアール
株式会社**

「ドア」製造

BXケンセイ 株式会社

BX鐵矢 株式会社

BX東北鐵矢 株式会社

BX朝日建材 株式会社

「ステンレス建材」製造・販売

BX紅雲 株式会社

サービス事業

「保守・点検」「修理加工」

**文化シャッターサービス
株式会社**

その他事業

「注文家具」製造・販売

BX文化工芸 株式会社

損害保険代理業

BXあいわ 株式会社

リフォーム事業

住宅向けリフォーム事業

**ゆとりリフォーム
株式会社**

海外事業展開

「シャッター」「ドア」「オーニング」
製造、販売

BX BUNKA VIETNAM Co.,Ltd.
(ベトナム)

「各種シャッター製品」
販売・メンテナンス

BX BUNKA TAIWAN Co.,Ltd.
(台湾)

～海外企業との技術提携～

ベルギー「ダイナコ社」
1999年より高速シートシャッター
「エア・キーパー大間迅」を発売

「BX BUNKA TAIWAN Co.,Ltd.」
:非連結子会社で持分法非適用会社

「不二サッシ株式会社」
:関連会社で持分法適用会社

「文化シャッター秋田販売株式会社」
「文化シャッター高岡販売株式会社」
「株式会社エコウッド」
:関連会社で持分法非適用会社



連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

	2014年3月期		2015年3月期 上期		増 減	
		構成比		構成比		前期末比
流動資産	72,488	66.0	70,391	65.1	△ 2,097	97.1
現金・預金	22,612	20.6	25,446	23.5	2,834	112.5
受取手形・売掛金	35,319	32.2	27,556	25.5	△ 7,763	78.0
たな卸資産	11,165	10.2	13,549	12.5	2,384	121.4
その他	3,388	3.1	3,839	3.5	451	113.3
固定資産	37,292	34.0	37,802	34.9	510	101.4
土地	8,373	7.6	8,382	7.7	9	100.1
投資有価証券	9,305	8.5	10,678	9.9	1,373	114.8
その他の投資・資産	2,745	2.5	2,081	1.9	△ 664	75.8
その他	16,869	15.4	16,661	15.4	△ 208	98.8
資産合計	109,780	100.0	108,194	100.0	△ 1,586	98.6
流動負債	41,229	37.6	37,057	34.3	△ 4,172	89.9
支払手形・買掛金	24,367	22.2	22,366	20.7	△ 2,001	91.8
短期借入金	1,800	1.6	1,800	1.7	0	100.0
その他	15,062	13.7	12,891	11.9	△ 2,171	85.6
固定負債	18,044	16.4	18,296	16.9	252	101.4
長期借入金	480	0.4	80	0.1	△ 400	16.7
退職給付に係る負債	15,832	14.4	16,524	15.3	692	104.4
その他	1,732	1.6	1,692	1.6	△ 40	97.7
負債合計	59,274	54.0	55,353	51.2	△ 3,921	93.4
純資産合計	50,506	46.0	52,840	48.8	2,334	104.6
負債・純資産合計	109,780	100.0	108,194	100.0	△ 1,586	98.6

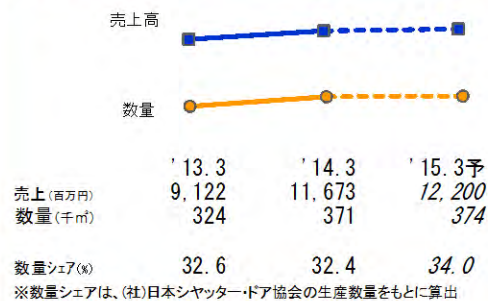
連結キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	2014年3月期 上期	2015年3月期 上期	増減
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	3,290	4,647	1,357
税金等調整前当期純利益	2,879	3,665	786
減価償却費	764	847	83
売上債権の増減額(△は増加)	3,835	7,763	3,928
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 1,078	△ 2,001	△ 923
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 580	△ 2,381	△ 1,801
法人税等の支払額	△ 2,402	△ 2,539	△ 137
その他	△ 128	△ 707	△ 579
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 635	△ 596	39
投資有価証券の売却による収入	1	-	△ 1
投資有価証券の取得による支出	△ 2	△ 36	△ 34
有形固定資産の売却による収入	5	6	1
有形固定資産の取得による支出	△ 859	△ 491	368
無形固定資産の取得による支出	△ 136	△ 58	78
その他	356	△ 17	△ 373
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	1,933	△ 1,328	△ 3,261
長短期借入金の増減額	△ 400	△ 400	0
配当金の支払額	△ 394	△ 573	△ 179
その他	2,727	△ 355	△ 3,082
4. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,542	2,742	△ 1,800
5. 現金及び現金同等物の期首残高	15,722	21,931	6,209
6. 現金及び現金同等物の期末残高	20,264	24,673	4,409

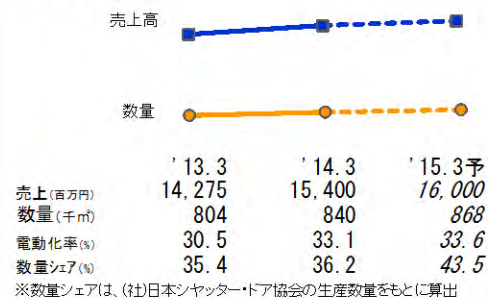
シャッター関連製品の状況（主要製品）

<重量シャッター>



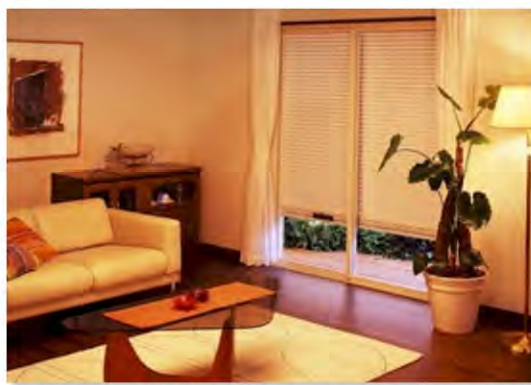
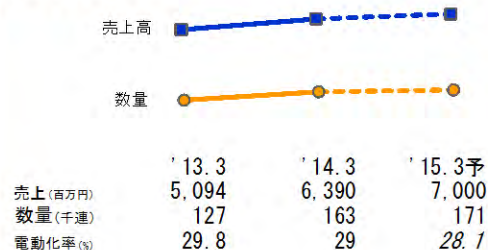
- ◆ 15年3月期上期は、工場向けが好調に推移した一方で、物流倉庫、商業施設向けが低調に推移した結果、売上高は前年同期比91.6%と減少。
- ◆ 15年3月期は、採算重視を前提とした積極的な受注活動により、売上高は前期比104.5%の122億円を計画。

<軽量シャッター>



- ◆ 15年3月期上期は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動で、新設住宅着工戸数が減少した影響等により、売上高は前年同期比96.9%と減少。
- ◆ 15年3月期は、増改築に伴う電動タイプの取り替え需要を見込み、売上高は前期比103.9%の160億円を計画。

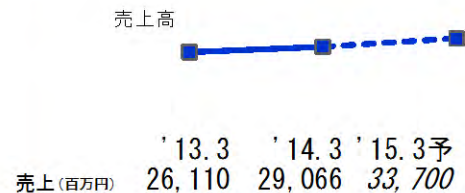
<窓シャッター>



- ◆ 15年3月期上期は、防火認定を取得したタイプが好調に推移した結果、売上高は前年同期比116.0%と大幅に増加。
- ◆ 15年3月期は、雨戸から電動タイプへの取り替えと自然災害から身を守る防災商品としての提案を進めることで、売上高は前期比109.5%の70億円を計画。

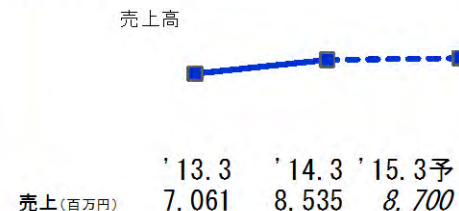
建材関連製品の状況（主要製品）

<ドア>



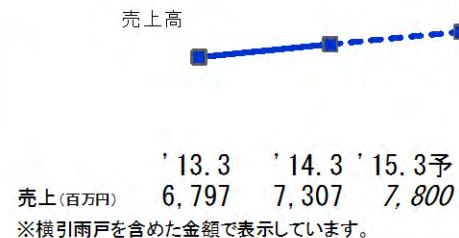
- ◆ 15年3月期上期は、主に医療・福祉施設向けの引き戸が好調に推移した結果、売上高は前年同期比114.0%と増加。
- ◆ 15年3月期は、引き続き医療・福祉施設向けの引き戸やスチールドアを中心に、採算重視の受注活動を継続することで、売上高は前期比115.9%の337億円を計画。

<パーティション>



- ◆ 15年3月期上期は、オフィスビルと商業施設向けが低調に推移したことで、売上高は前年同期比94.4%と減少。
- ◆ 15年3月期は、文教施設や工場等向けの受注拡大を図ることで、売上高は前期比101.9%の87億円を計画。

<エクステリア>



- ◆ 15年3月期上期は、戸建住宅向けが堅調に推移したことで、売上高は前年同期比102.6%と増加。
- ◆ 15年3月期は、エコ建材「テクモク」のさらなる拡販を図ることで、売上高は前期比106.7%の78億円を計画。

サービス事業、リフォーム事業の状況

<サービス事業>



	'11.3	'12.3	'13.3	'14.3	'15.3予
売上高(百万円) (保守・点検、修理加工)	12,049	13,358	13,879	14,983	16,000
営業利益(百万円)	792	1,230	1,437	1,697	1,900
営業利益率(%)	6.6	9.2	10.4	11.3	11.9

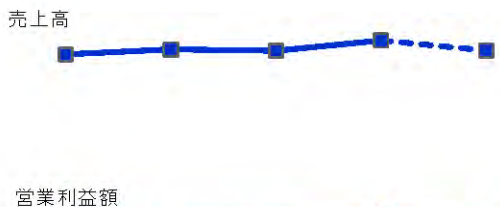
◆ 15年3月期上期は、修理及びメンテナンス対応が堅調に推移したことで、売上高は前年同期比106.3%と増加。

◆ 15年3月期は、防災気運の高まりを受け、安全性を高める装置の設置と、保守点検契約の提案を積極的に推し進めることで、売上高は前期比106.8%の160億円を計画。



保守点検の様子

<リフォーム事業>



	'11.3	'12.3	'13.3	'14.3	'15.3予
売上高(百万円)	9,047	9,758	9,573	11,042	9,600
営業利益(百万円)	192	449	395	740	300
営業利益率(%)	2.1	4.6	4.1	6.7	3.1
店舗数	23	22	21	21	-

◆ 15年3月期上期は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動により、売上高は前年同期比86.1%と減少。

◆ 15年3月期は、パッケージ型の定額商品「安心価格」及び「超安心価格」の拡販と、リピート受注の強化により、売上高は前期比86.9%の96億円を計画。

東証一部上場 文化シャッターグループ リフォーム専門会社

ゆとりリフォーム

スーパー 価格破壊で有名なスーパーが、価格破壊一歩先
超安心価格

ゆとりリフォーム
安心価格
価格破壊のままだが、お支払いの

パッケージ型の定額リフォーム商品「安心価格」と、追加工事不要の「超安心価格」

問い合わせ先

文化シャッター株式会社 経営企画部広報室 曾根、小林

TEL03-5844-7150 FAX03-5844-7141

E-mail bxinfo@mail.bunka-s.co.jp

<http://www.bunka-s.co.jp/>